

受講者募集 こどもの療育と支援を考える会 いろいろどり 主催



教えて！濱口先生
～合理的配慮ってなに？ 障害者差別解消法って？～

学校や地域社会で、障がいのある人が安心して過ごすために必要な「合理的配慮」とは何か、一緒に考えてみませんか？ 制度のポイントや、日常生活での具体例について、分かりやすくお話いただきます。

日 時：10月16日（木）10:00～11:30
場 所：障害者ふれあいセンター 2階 会議室1
講 師：濱口 直哉 氏

（兵庫県合理的配慮アドバイザー 社会福祉法人あかりの家
東播磨圏域障害者相談支援コーディネーター）

内 容：学校や地域でできる「合理的配慮」について、事例を交えて一緒に考えましょう

参加無料
申込不要
どなたでも大歓迎！

受講者募集 要約筆記体験講座

声を文字に
～コーヒーを飲みながら
学ばやさしい講座～

- ☑聞こえに困りごとのある方のお手伝いをしたい
 - ☑タイピングが得意、言葉をまとめるのが好き
 - ☑福祉に関心がある、新しいことにチャレンジしたい
- 要約筆記は、話の内容を聞き手に届くことばへと“見える化”するやりがいのある活動です。

日 時：10月23日（木）10:00～12:00
場 所：障害者ふれあいセンター
講 師：門條 宏宣 氏（㈱アバンサー常務取締役）
要約筆記ひだまり（稲美町ボランティア連絡会）
費 用：300円
申 込：稲美町社会福祉協議会 ☎079-492-8668

善意の預託ありがとうございました

（令和7年7月受付分）

金銭寄附	氏名（敬称略）	金 額	内 容
	匿名	¥60,000	寄附
	匿名	¥4,072	寄附
	匿名	¥10,000	寄付
	稲美町社会福祉協議会イベント部活動出店売上（写真①）	¥8,084	寄附
	ADEKA労働組合	¥20,000	寄附
	魚住 秀一	¥87,958	寄付
物品預託	（有）長石造園（7/19夏祭り売上金の一部）	¥10,000	寄付
	氏名（敬称略）	物 品	内 容
	匿名	切手35枚	寄附
	生活協同組合コープこうべ	米25kg	寄附
	ファミリーマート 稲美五軒屋店・稲美蛸草店	食品1kg	寄附
	匿名	米18kg	寄付



▲写真①
「夏祭り」に出店させて
いただきました。
（R7.7.19）

社協のつづき 今年は例年に比べても夏が長く、体力的にも大変な年になりました。しかし、地域にお邪魔させていただくと、暑さに負けない程皆様の活気を感じ、いつもパワーをいただいております。
まだまだ秋が来る気配は遠いですが、これからは少しずつ過ごしやすい気候になると思いますので、旬の食材や季節の行事などを楽しみながら、身体に気を付けながら過ごしていきましょう。（F.A）

- オープンカフェ（みんなの居場所事業） 原則毎月第2金曜日 10時～11時30分 障害者ふれあいセンター 予約不要 100円要
- 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい 原則毎月第2水曜日 10時～12時 障害者ふれあいセンター 予約不要
- いろいろどり（こどもの療育と支援を考える会） 原則毎月第3木曜日 10時～12時 予約不要



月刊広報

稲美の社協さん

編集発行 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会
〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3
障害者ふれあいセンター内
TEL(079)492-8668 FAX(079)492-9170



令和7年(2025)

9月号
NO.348



稲美町ボランティア連絡会 啓発講演会

参加無料 老いと向き合い
つながりの中で生きる
これからの人生を
ともに考える

2025 10.27 月 10:00～11:30

いきがい創造センター 2階多目的ホール

こざくら よしあき

講師 小櫻 義明 氏（静岡大学名誉教授）

なぜ、人だけが長い高齢期をもつのでしょうか。
病気があっても、“健康に” 生きることにはできるのでしょうか。
介護を受けながらも、“幸せに” 暮らす道とは。

そんな問いにやさしく向き合いながら、
これからをどう生きるか、 いっしょに考えてみませんか。



いつもあたたかいご協力ありがとうございます

■善意銀行 受付随時 ■赤い羽根共同募金 毎年10月～12月 ■歳末助け合い募金 毎年12月

令和7年度 福祉会費 報告

3,525,900円 (R7.8.18現在)

今年度も福祉会費にご協力いただきまして誠にありがとうございました。さまざまな事業で使わせていただきます。

【暮らしの法律相談】

・司法書士相談

原則毎月第1木曜日 総合福祉会館

原則毎月第3木曜日 母里福祉会館

いずれも13:30～14:30

相続、登記など身近な相談所です。

事前予約要 ☎079-492-8668

〈年内相談日〉

9/4(木)、9/18(木)、10/2(木)、10/16(木)

11/6(木)、11/20(木)、12/4(木)、12/18(木)

・弁護士相談

原則毎月第2木曜日 障害者ふれあいセンター

13:00～15:00

事前予約要 ☎079-492-8668

〈年内相談日〉

9/11(木)、10/16(木)※第3木に変更

11/13(木)・12/11(木)

【生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどい】

原則毎月第2水曜日 障害者ふれあいセンター

10:00～12:00

発達障害などのちょっとした違いで社会とうまく距離がつかめない、などの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会で悩みや情報の分かち合いを目的としています。

〈年内開催日〉

9/10(水)、10/8(水)、11/12(水)、12/10(水)

【介護者の会「さくら草の会」】

原則毎月第4金曜日 障害者ふれあいセンター

10:00～11:30

〈年内開催日〉

9/25(木)、10/23(木)、11/27(木)、12/25(木)

【居場所づくり事業「オープンかふえ」】

原則毎月第2金曜日 障害者ふれあいセンター

10:00～11:30

〈年内開催日〉

9/12(金)、10/10(金)、11/14(金)、12/12(金)

わだい



出前講座「地域福祉ってなんだろう？」

7月17日(木)兵庫大学

兵庫大学で「地域福祉」をテーマに出前講座を行いました。

社協は、専門的な相談支援はもちろん、住民の皆さん一人ひとりが主役となる「支え合いの地域づくり」を進めています。今回は未来を担う若い世代の皆さんと一緒に、「支え合い」の意味を考える貴重な時間となりました。

ありがとうございました。

Q.「弱った魚を見つけたら…？」

講座の始まりは、こんな問いかけから。目の前の困っている人を助けること（魚を助ける）だけでなく、暮らしやすい地域の仕組み（池をきれいにする）を整えることの大切さについて考えました。



Q. 雨に打たれる女性に何を描き足す？

一人で雨に打たれている女性の絵に、温かさを加える発想を出し合いました。

傘を差し出す、バーベキューを楽しむ仲間を連れてくるなど学生の皆さんの自由なアイデアから、「地域にいる誰かの存在」が、孤独を和らげる力になることを体感してもらいました。



福祉委員交流研修会

7月25日(金)いきがい創造センター

「暮らしの声からはじまる地域福祉計画」をテーマに、地域の課題や思いを共有しながら意見交換を行いました。

活動の見直しや子どもをきっかけにした交流、新しい住民を巻き込む工夫など、地域を元気にする前向きなアイデアが次々と生まれました。稲美町の地域力のすごさ、住民のアイデアはおもしろく熱い思いがたくさんあることに希望を感じました。

母里校区「夏祭里」出店

7月19日(土)母里小学校

ミニフランクのお店を出店させていただきました。たくさんの方にご来店いただき、おかげさまで売上金は善意銀行に寄付させていただきました。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました！

「てきとう」で、ええやん？

7月18日(金)

～地域自立支援協議会
くらし部会研修会～

いきがい創造センター

テーマは「はたらくを、やわらかく」。講師に、東近江圏域 働き・暮らし応援センター「TEKITO-」の野々村光子さんをお招きしました。

◆働く＝就職？フルタイム？

「ちがうちがう、もっと“ちょうどええ”があっている」

野々村さんは、本人が見ている“景色”を大切にしながら、一人ひとりに合った“働く”の形を探る実践を続けてこられました。

◆地域の「ちょっと困った」が「しごと」になる

草刈り、薪割り、ネット張りなど、地域の「ちょっと困った」を拾い上げた結果、今では62か所もの“働く場”が生まれています。働くことを通じて、「友だちじゃないけれど、顔を知っている関係」ができる。その“つながり”が、孤立しがちな人にとって何よりの支えになります。

◆野々村さんの言葉より

「型にはまらず、カッコいい大人を目指す」

「“てきとう”って、すごく大事な考え」

「一人ひとりの“景色”を見たい」

就労支援の枠を超え、“地域の景色”をやさしく変えていく力を感じさせてくれるものでした。ありがとうございました。



～心に残ったエピソード～

●豆腐屋で働くこうじさん

長年うまく働けなかったこうじさん。地域の豆腐屋さんで力を発揮。貯めたお金で家族にテレビを買い、「働くってええことあるわ」と語られた姿。

●求人ではなく「企業開拓」

求人のない地域でも、「まずは見学を」と企業に声をかけ続け、「朝2時間だけなら」という柔軟な働き方の場が少しずつ広がった話。

●500円玉に込められた想い

毎朝、給料を500円玉に崩していた男性。理由は「お母さんの入院先へのバス代と花を買ってお見舞いに行きたいから。」

参加者募集 ボランティアグループ

きっかけの輪づくり応援団 金のわらじ主催

男性35～45歳、女性年齢フリー

♪出会いを応援します♪

日 時) 10月19日(日) 10/8(水)

10:30～13:00

(受付10:00～10:20)

場 所) 稲美町立加古福祉会館ホール

(稲美町加古4369-3) ※駐車場多数あり

内 容) アプローチカード、トークタイム等

対 象) 独身で結婚をまじめに考えておられる方

参加費) 男性：1,000円 女性：500円

【申込方法】

①QRコード

②郵送

稲美町社会福祉協議会 金のわらじ婚活イベント係まで返信用封筒を送付してください。後日、申込用紙を郵送いたします。(送付先住所氏名記入の上110円切手貼付要)



ふくし豆知識

9月1日は『防災の日』

“備える防災”と“支え合う防災”

～地域の力を、非常時のチカラに～

9月1日は『防災の日』。

日頃から「備える防災」に取り組まれる方は多いと思いますが、「支え合う防災」についても、ぜひ考えてみませんか。

実は、災害時に社会福祉協議会が担う大切な役割があります。それが「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」の設置・運営です。

災害VCは、災害時に助けを必要とする人と、支援したい人（ボランティア）をつなぎ、被災地の復旧を支える役割を持っています。ふだんから地域でのつながりづくりを推し進めている社協だからこそ、災害時にも人と人をつなぐことができると考えます。

「支え合いのまちづくり」を、平時から。

非常時にも活きる地域のつながりを、一緒に育んでいきましょう。

■暮らしの法律相談・弁護士相談 原則毎月第2木曜日13時～15時 障害者ふれあいセンター 次回相談日 前日12時迄の予約要 (先着4名)

■暮らしの法律相談・司法書士相談 原則毎月第1・3木曜日13時30分～15時 (第1) 総合福祉会館 (第3) 母里福祉会館 前月1日から予約受付

■障がい者基幹相談支援センター 相談随時 月～金曜日 8時30分～17時15分 祝日除く ☎079-492-5577

■介護相談・認知症相談 相談随時 月～金曜日9時～17時 祝日除く ☎079-492-8779

■さくら草の会 (介護者の会) 原則毎月第4金曜日10時～11時30分 障害者ふれあいセンター 予約不要